

○ 有松まちづくりの会 役員会 (6月25日)

○部長会の新設

種々の課題を検討する部長会を設け、定例的に検討することが決まりました。当面の検討課題

- ・世話人制度の在り方
- ・会員増の検討
- ・有松提灯の保管方法の検討

○今年度の事業計画について (事業部報告)

事業部から今年度の行事について報告がありました。

①安城七夕まつりへの参加 (8月3～5日)

碧海信用金庫本店前で絞り組合と共に有松をPRします。

②区民まつりへの参加 (10月27日)

大高緑地の若草山の1ブースで有松の町並みをPRします。

③全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会への参加 (11月16～18日)

④晩秋の有松を楽しむ会への協賛 (11月24～25日予定)

⑤ありまつ福よせ雛さんぼ道の開催 (来年3月)

○今年度の防災活動計画について (防災部報告)

防災部は来年1月の文化財防火訓練を考慮し、次の事項の点検を行う予定です。

- ①火災報知機 ②消火器 ③防火水槽 ④ブロック塀 ⑤煙突

○ 「有松町並みガイドライン」発行される (歴まち室)

名古屋市は「伝統的建造物群保存地区保存条例」を制定し、保存地区内での建築行為等行う場合はすべて名古屋市への許可申請・届出が必要としました。その許可基準となる建築行為等に関するガイドライン冊子が発行され、町並み保存地区内の各世帯に配布されました。保存地区内での新築や改築等の参考にしてもらう為です。また、色彩に関するガイドラインは検討中です。

なお、建築行為等が歴史的町並みの景観等に合うかどうか事前に検討する「有松町並み相談会」(住民・商工業者によって構成)が設けられていますので、具体的な設計に入る前にご相談ください。「町並み相談会」は、原則毎月第3月曜日に開催されています。

問合せ先：名古屋市歴史まちづくり推進室、052-972-2728

○ 有松桶狭間観光振興協議会役員会 (6月26日)

○布袋車大幕復元新調に支援を (有松天満社文嶺講からの依頼)

1812年製の布袋車大幕の復元新調のための寄付のお願い文書が出されました。

寄付1口の金額は次の通りです。

- ①各種団体・企業：10万円 ②地元組合・絞り関係者：5万円 ③個人：2万円

振込先：碧海信用金庫有松支店、口座番号：6065211 有松天満社文嶺講大幕支援金

毎年恒例の「第34回有松絞りまつり」が期間中晴天に恵まれ、有松東海道一帯で開催されました。初日に河村市長、2日目に大村知事が駆けつけてくれました。

今年は西町方面へのお客様を多くしようと、好評な「絞りタペストリー」の飾りに加え、祇園寺での名古屋情報専門学校の「つかめる水」などその他の体験教室の実施、名古屋市指定有形文化財の「岡邸」の一般公開などが行われました。また、有松東海道から庄九郎道→五番蔵小路→長坂道を通り有松東海道に出る道を「絞りの小路」として紹介し、絞りの町の雰囲気を楽しんでもらいました。

来場者は、2日間で8万人でした。

○まつりを助けるボランティア

高等学校・専門学校・短期大学・大学や行政関係者などから大勢の人たちがボランティアとしてまつりに協力しました。まつり前日や当日の道の清掃や会場設営、交通誘導、町並みや史跡ツアーなどの各行事のアシスタントなどに総勢約400人が参加しました。特に名古屋情報専門学校は、総勢240名をボランティアに参加させ、まつり翌日の月曜日は代休としました。



中町交差点の見守りをする助っ人

○町並みツアー

有松あないびとの会(構成員40名)は町並みツアーを行い、650人を超える参加者を案内しました。両日も暑い日となり、あないびとも参加者も汗を拭き拭き、人をかき分け町並みを見学しました。

日頃入ることの出来ない井桁屋の裏庭、3台のからくりの山車も見て頂くことが出来ました。

参加者の皆様と質問・雑談等で大変楽しい時間を過ごすことが出来、有松の良さを堪能し、またのお越しが期待されます。



町並みツアー受付に飾られた
アジサイ「有松」

○岡家公開

かねてから要望の高かった名古屋市指定有形文化財・岡家の家屋が初めて公開され、入場待ちで行列ができていました。



○獅子くるま初見え

中町唐子車楫方の桑山さん製作の「獅子くるま」が幼児を乗せて曳かれ、周りの人になごみを与えていました。



○ 桶狭間古戦場まつり（6月10日）

今年は、名古屋市の信長攻路（清州城→熱田神宮→桶狭間）を行軍し、”桶狭間の戦い”を再現するイベントに合わせ、6月第2日曜日にまつりは開催されました。

戦い当時と同じく今にも雨が降って来そうな空模様の中、長福寺前に設置されたふれあいステージでの桶狭間学区区政協力委員長の開会宣言でスタートしました。

桶狭間幼稚園の園児によるイベントに始まり、夕刻の鳴子踊りでステージは終了しました。

- 史跡巡りツアーは午前と午後2回行われました。参加者はツアー4組で40名でした。
- 歴史講演会が長福寺で開かれ、徳川美術館学芸員の原史彦氏による信長の尾張統一までの動きと両軍の戦力について、資料に基づき分かりやすく、新説になりそうなお話でした。
- 万灯会は、大池周りに約3500本のローソクを立て行われ、両軍の戦没者を慰霊しました。
- 「桶狭間の戦い再現劇」は、夜明け前に清州城を出陣した名古屋おもてなし武将隊の信長公が桶狭間に昼ごろ到着し、近隣各地から参戦した武将隊と共に今川軍と合戦し、義元を討つまでの経緯の劇を行いました。



長福寺前のふれあい広場

○ 人形供養（6月17日）

平安会館による人形供養法会が今年是有松斎場で行われました。

各家庭で飾られ、家族を癒してきた愛着のある雛人形やぬいぐるみ・こけしなど約千体が祭壇に祀られ、僧侶の読経の中、人形提出者が焼香を行い、供養が執り行われました。

平安会館の話しでは、お雛様よりぬいぐるみが多くなり、特殊なものとしては心に残る写真などの供養の依頼もあったそうです。

有松福よせ雛実行委員会は、供養済みの雛人形約250体を譲り受け、来年の「有松福よせ雛さんぽ道」に備えました。



人形供養法会風景

○ 有松あないびとの会研修旅行（6月19日）

四間道と名古屋城に出かけました。

午前はガイドの伊藤公夫さんを先頭に、昔ながらの蔵が建ち並ぶ四間道を見学。蔵を改造したお店の大黒柱の立派なこと。屋根神様や五条橋などの見学を通して清洲越し以来のこの境界の歴史に触れることができました。

午後は名古屋城本丸御殿を見学。外国の方を案内するためのグループと、一般のグループに別れて研修・見学をおこないました。本丸御殿の豪華さには圧倒されました。



四間道でガイドの説明を聞く

第1回を有松で開催してから25年。世界各都市を廻った後再び名古屋で開催されました。

○ 展覧会の開催

古川為三郎記念館、名古屋城本丸御殿、名古屋市博物館で、日本最古の古裂、豊後絞り、嵐絞りなどの展示

○ セミナー講演会の開催

名古屋国際会議場で日本の絞りをテーマに開催

○ ワークショップの開催

有松・鳴海の7会場で絞り体験を実施



ワークショップ風景

○ 有松点描

○ 山与遊歩道の柳

山与遊歩道の街路樹について、当初名古屋市は「キンモクセイ」を提案しましたが、有松まちづくりの会は歴史的観点から「柳」を要望しました。3～4回の協議の結果、名古屋市は「柳」を了解しました。

この遊歩道は、有松地区土地区画整理事業（平成2年開始）の一環として作られた道路で、平成24年5月末に開通しています。道幅4mを確保するため、平成20年に登録有形文化財に登録された石垣と塀を約2m程屋敷内側に移設する必要がありました。文化財を復元するため取り外した石一つずつに番号を付けるなど慎重な工事が行われ、現在の石垣と塀になりました。



山与遊歩道の柳

○ 催事・行事の予定

- ・～07月01日 09:30 第11回 国際絞り会議 in Japan ワールド絞りネットワーク
- ・07月01日(日) 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周り 有松青空市運営委員会(仮称)
- ・07月07日(土) 16:00 平成30年 避難所開設訓練 有松小学校体育館 区政協力委員会
- ・07月22日(日) 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- ・07月29日(日) 13:30 第2回 有松寄席 上方落語の会 竹田邸三番蔵ホール
- ・08月03～05日 10:00 安城七夕まつり JR安城駅前一帯
- 10月27日(土) 10:00 区民まつり 大高緑地公園 緑区役所
- 11月16～18日 13:30 第41回全国町並みゼミ長野松代・善光寺大会
- 11月24・25日 09:00 有松コミセンまつり コミセン・小学校体育館 区政協力委員会
- 〃 10:00 晩秋の有松を楽しむ会 有松東海道一帯 同実行委員会

発行者：竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者：加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671 E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

：有松まちづくりの会ホームページ

有松のまち

検索